

和田岬線活かし 街の活性化を

兵庫運河周辺地域の活性化の取り組みが進められていますが、その中で和田岬線の存続問題も浮上しています。もし和田岬線が廃止になれば、地域商店街への影響が大きく、不安の声が上がっています。また、廃止によって兵庫駅の乗降客が減少することで、快速電車が停車しなくなるとの危惧の声も上がっています。兵庫区役所が行った説明会では、「昼間も電車を走らせて、住民や観光客が乗れるように」など活性化への利用の声が相次ぎました。神戸市は、この声を受けて真剣にJRと交渉すべきです。

中央市場西側跡地は 地域住民の声反映を

神戸市は中央市場西側跡地をイオンモールに売却するとしていますが、住民の声を聞かないやり方に批判の声が上がっています。日本共産党市議団の行った西側跡地利用のアンケートでは、第一位が食と観光用の小売市場、第二位が市営住宅、第三位が公営プールを備えた運動公園との声が寄せられています。また、大型店の進出は、地域の市場・商店街に深刻な影響を与えかねません。地域の商店がすたれてしまうと街づくりの観点からも大問題です。地域住民や商店の声を反映した利用に変更するべきです。



鈴ちゃん

借上住宅問題で、他都市は継続入居に踏み切っているのに、神戸市は対応を変えていません。



結成総会で発言する大かわら議員

障害者や100歳を超えるお年寄りにまで情け容赦なく転居を迫る。なぜこんなひどいことができるのでしょうか。しかし、弁護士の集団である「自由法曹団」が、神戸市のやり方は違法であるとの意見書を発表しました。先日、継続入居を求める入居者の皆さんが、「借上住宅兵庫区連絡会」を結成されました。市長は、この声を直接聞くべきです。

日本共産党
神戸市会議員

大かわら鈴子

すずこ



発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団HP：<http://www.jcp-kobe.com>



自校方式の 中学校給食を

大かわら議員が代表質問

実践できるのが自校方式です。ところが神戸市は、財政難を理由に最初から自校方式を排除する発言をしています。また検討会に出された当局作成資料は、明らかに選択制、デリバリー方式に誘導する内容です。大かわら議員は、「これでは、公正で客観的な議論ができない」と批判、市民意見を反映させる対策が必要だと指摘しました。また、教育長が市民の声を聞く「公聴の場」と位置付けていた教育フォーラムでは、わずか3人2～3分の発言だけでした。大かわら議員は、「再度市民の意見を聞く場を持つべき」「神戸市の未来を担う大事な子ども達への投資として、自校方式を選択するべき」と迫りました。

中学校給食を願う市民の声は6万筆にもなる署名の数でも明らかです。神戸市は、「中学校の昼食あり方検討委員会」を設置し、検討をしています。中学校学習指導要領では、中学校給食を食育指導の中心の場と位置付けており、ただの昼食ではなく、教育だという事を明確にしています。また食材を地産地消とすることで、安全な食品の確保、地域農業や地元中小業者の活性化にもつながります。これらを実現し、教育・食育の理念を実

代表質問から

借上住宅

住宅追い出しは、人道上も問題

被災から17年、借上住宅入居者は高齢化しています。大かわら議員は「高齢者などに一方的に退去を迫るやり方は人道上も大問題だ」と厳しく批判しました。入居期限については、記載されていない契約書も多く存在し、当時の職員から「期限が来ても延長される」との説明を受けていたことも明らかになっています。

大かわら議員は「2年前、この問題が突然提起されるまで神戸市は、転居が必要との説明は一切していない。説明が不十分という事は当局も認めている」と指摘。「市長は、直接市民の声を聞き、希望する全ての人が市営住宅として住み続けられるようにすべき」と求めました。

借上入居者が入居継続求めて

大かわら議員は、神戸市借上入居者連絡会のみなさんとともに、中川正春防災担当大臣（当時）に支援を要請しました。入居者らは、高齢者や障害者が助け合いながら生活している実態などを語り、今のコミュニティーが壊れれば孤独死が出かねないと訴えました。中川大臣は、「国としても柔軟な対応を検討する」などと答えました。

中川防災担当大臣に要請



入居者とともに大臣要請する大かわら議員

文教子ども委員会から

「いじめ・傷害事件」の真相解明を



や保護者、教育関係者、地域が一緒になっていじめをなくすための取り組みをすべき」と求めました。

中学校へのエアコン設置予算化へ

温暖化による異常気象は、子ども達の学習環境にも大きな影響を与えています。小中学校普通教室のエアコン設置は現在4割程度しかされておらず、長年にわたって要望されてきた課題で、大かわら議員も議会で度々取り上げてきました。10月の文教子ども常任委員会で教育長は初めて、中学校へのエアコン設置を予算化したいと答弁しました。

今年7月に、北区の市立中学3年生男子生徒3人が同級生を暴行し、重傷を負わせたとして逮捕されました。背景にはいじめがあり、教育委員会も認めています。しかし、このような事態になっても、学校の生徒や保護者、地域には何の説明もしていません。大かわら議員は、「子どもたちにも事実を伝え、子ども達

特別委員会審査から

さらなる値下げで大型車の誘導を

山麓バイパス



西神戸有料道路無料化にともない、コンテナ車など大型車両が一般道へ流入し、騒音や振動の被害、事故が相次いでいます。大かわら議員は、道路公社が積み立てている「道路事業損失補てん引当金」が、新神戸トンネルの阪神高速道路株式会社への移

管の際に活用されたことを指摘。西神戸有料道路の残債179億円に、引当金127億円をあてて、山麓バイパスのさらなる値下げや無料開放の前倒しで、大型車の誘導を強化することを求めました。

神戸市道路公社のホームページより作成

